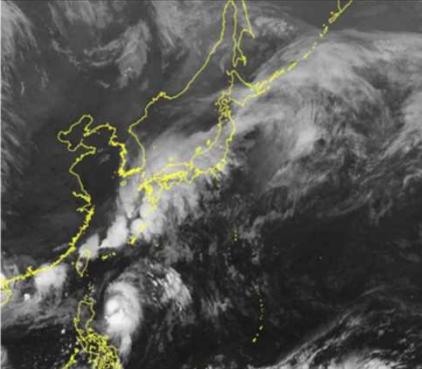


令和6年5月28日 前線に伴う降雨における防災操作の概要

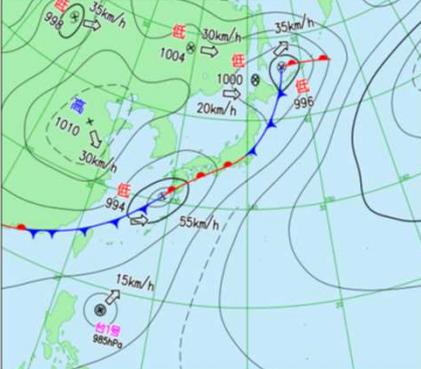
速報

- 東シナ海にある前線を伴った低気圧が、28日に発達しながら西日本から東日本の太平洋側に進み、雷を伴った激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、5月27日の夜遅くから雨が降り始め、流域平均総雨量は約130mmを観測しました。特に28日14時～16時にかけては時間雨量が10mmを超え、3時間雨量は36.3mmを観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量(200m³/s)に達する出水となり、約350万m³(ナゴヤドーム約2杯分)の水を貯留を実施しました。

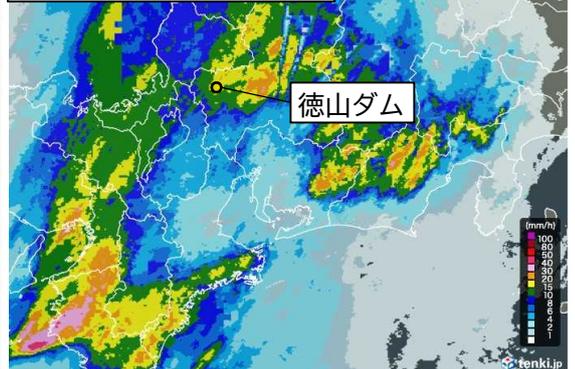
5月28日6時 気象衛星赤外線画像



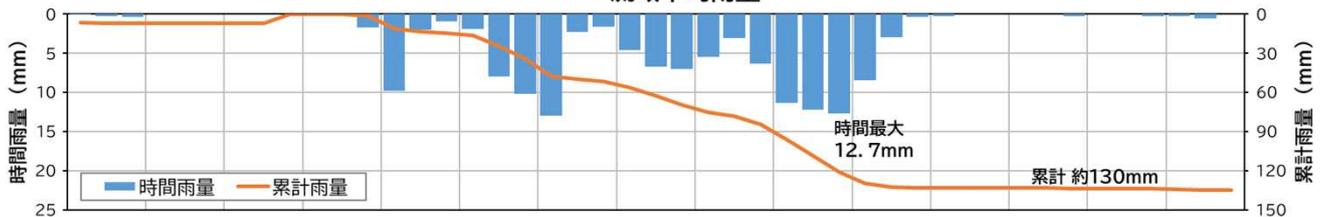
5月28日6時 天気図



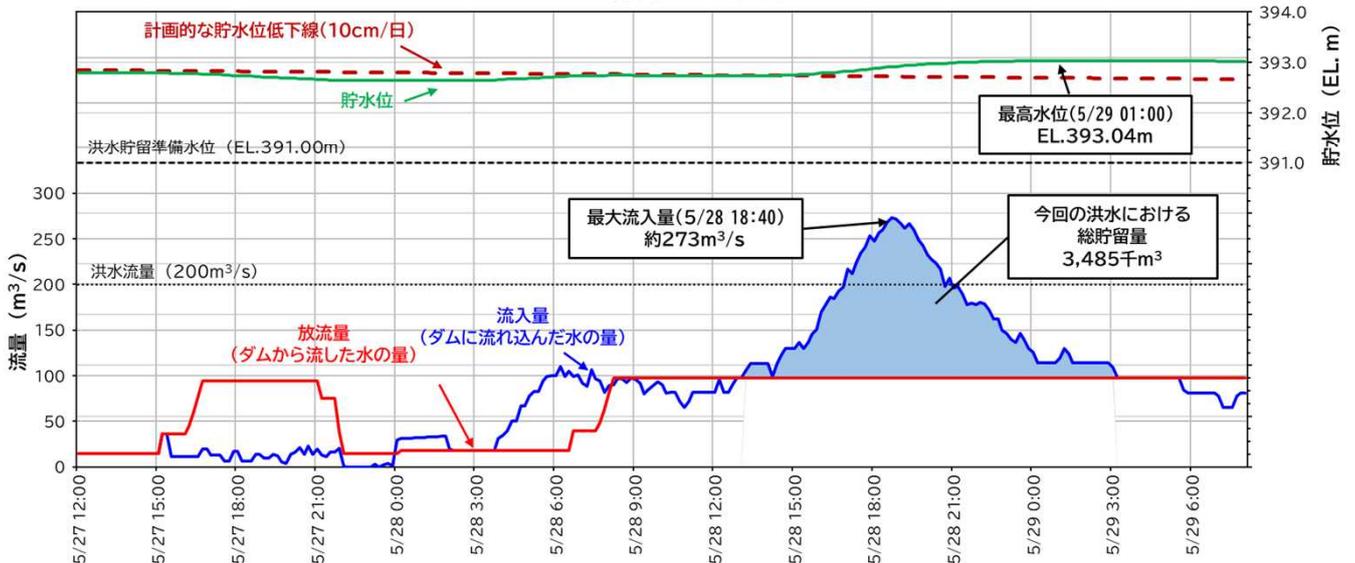
5月28日16時 レーダ雨量



流域平均雨量



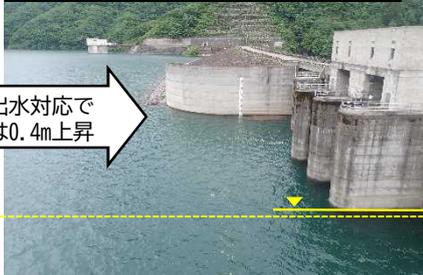
徳山ダムの状況



5月28日 9時 貯水位：EL. 392.74m



5月29日 9時 貯水位：EL. 393.01m



今回の出水対応で貯水位は0.4m上昇